

壬生町 上三川門 :野市 下野市 栃木市 小山市 位置図

われており、江戸中期には、「西方五千石」と呼ばれた米どころ西方町の農 業を支えてきました。

昭和26(1951)年に造成工事が始まり、昭和28年(1953)年に現在につなが る姿になりました。築造後約60年が経過した平成22(2010)年の調査で、護床 ブロックの劣化やゲートからの漏水などが確認されたことにより、治水の安 全性の確保と長寿命化を図るための改修を行い、令和3(2021)年度に完了し ました。

改修前の小倉堰



改修後の小倉堰



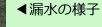
工事前後の様子

▼改修前の沈下した護床ブロック



▼改修前のスライドゲ





▼改修後のきれいに並べられた





河床の洗掘 (水の流れに より土砂が削 られ流される こと)を防止 するための 、施設です。

護床工

'改修後のスライドゲート



ズライドゲートの役割(土砂吐)

▼漏水の様子 | 堆積した土砂を素早く取り除き、 水路に土砂が流れ込むのを防ぐ機能 いあります。

